

秋田県内在住の産業カウンセラーの皆さん、こんにちは！ 回覧板冬号をお届けします！

リレー投稿『思うこと』-32-

「対話」は、やっぱりあいさつから！

船越 俊幸

2025年6月、鹿児島県十島村のトカラ列島で地震が群発しました。報道を賑わせたのは、住民90人弱の「悪石島」でした。私は、この島の名前がニュースに出るたびに、「なぜこんな名前の島なのだろう。昔、何かあった島なのだろうか。住んでいる人は気の毒だなあ」と勝手に思い込んでいました。ところが、ある日、日本経済新聞のコラムに、私の疑問への答えが書かれていました。悪石島の住民の方々は「ここは天国のような島だから、誰も近づかないように怖い名前にしてある。その昔、島名変更も持ち上がったが、議会はこれを却下した」と。ドキリとしました。やはり、「対話」してみないと、その真意はわからない。思い込みで決めつけていた自分が、恥ずかしくなりました。

私は病院に勤めて41年になります。21歳で診療放射線技師として採用され、その後、50歳のときに転機が訪れ、事務職に配置替えとなりました。理由は、病院の売却・廃止の危機を乗り越え、公的に存続することが決まったことを契機に、地域住民や行政との橋渡し役、そして職員や患者さんとの対話役を担ってほしいという院長の強い希望があったからでした。40歳頃から「医療メディエーション」という学びに出会い、患者さんと医療者の間に立つ中立の橋渡し役（医療メディエーター）が、コンフリクトを解きほぐし、Win-Winの関係をつくれる——そんな魔法のようなロジックがあると知り、研修を重ねてきました。表層の怒りの奥に隠れた深い想い。そこにたどり

着くには「対話」が大事だと。私は、この学びをもう少し本腰を入れて深められるなら、と考え、技師から事務職へ転じる決意をしました。その後、産業カウンセラー、キャリアコンサルタントとも出会い、傾聴の大切さをさらに深めました。

いま院内での私の役割の半分は、職員相談、患者さん相談、院内外のコミュニケーション研修、インターンシップで来院する中高生への職業紹介などです。先日、元小学校の校長先生とお話しする機会があり、「あいさつ」談義で共感していただいたことが印象に残りました。先生は、子どもたちにこう伝えているそうです。「あいさつって、目の前の人があなただけを敵か味方か判断する分かれ道になっているんだよ」と。昨年の夏、高校生がインターンシップで来院しました。私は朝のオリエンテーションで、「今日はこれから患者さんや看護師さんなど、多くの人たちとすれ違います。ちょっと頑張つて、相手より先に、相手の目を見て、口角を少し上げて、あいさつしてみてください。何かが起こりますよ」と声をかけました。その後、看護部やリハビリの現場実習を終えて帰ってきた生徒たちの感想はこうでした。「患者さんに自分からあいさつしたら、笑顔であいさつが返ってきて、その後、話が弾んで、本当に幸せな気分になりました。」



最近のコミュニケーション研修では、このエピソードを冒頭で紹介するようにしています。小さい頃からずっと言われ続けてきた「あいさつ」は、生涯、自分を守り、幸せにしてくれる大事な「鎧」なのかもしれません。

県内学習グループ開催情報など

◆ 秋田ふれあいこまち会定例学習会

日 時 R7年12月6日(土) 15時～16時半

会 場 にぎわい交流館 AU

参加者 6名

担 当 渡部昌平 副会長

テーマ 理屈で考える、
カウンセリングの言語化

忘年会を数時間後に控えた学習会

なんとなくソワソワ、ウキウキ！

いつも以上に口角が上がってばなしの学習会でした。

日 時 R7年12月6日(土) 17時半～20時

会 場 イタリア食堂ビランチャ

参加者 11名

幹 事 渡部昌平 副会長

テーマ 今年もお疲れさまでした！
とにかく飲んで楽しみましょう！



日 時 R8年1月17日(土) 9:45～11:45

会 場 遊学舎 多目的工房

参加者 10名

幹 事 寺田誠さん サキホコレ会会員

テーマ オープンダイアログ

開放的な空間の中で行われた、グループアプローチの体験は養成講座の体験学習に似ていて、参加者の一体感を感じる楽しい時間となりました。

◆ サキホコレ会定例学習会

日 時 R7年11月1日(土) 9時半～12時

会 場 多目的学習施設「かみおか嶽雄館」

参加者 7名

担 当 鎌田千昭さん(ふれあいこまち会員)

テーマ 『傾聴を学ぼう』

養成講座指導員の鎌田さんより、基本である「傾聴」をレクチャーいただきました。

〈予告〉

日 時 R8年3月7日(土) 9時半～12時

会 場 多目的学習施設「かみおか嶽雄館」

担 当 佐藤 妃富美さん

テーマ 『生け花～花を愛でる時～』シリーズ3
皆様のご参加お待ちしております。

◆ 民生委員会研修会での講師を務める！

「秋田・こころのネットワーク」より「傾聴とコミュニケーション」をテーマとした出前講座の講師派遣依頼を受け、下記のとおり講座を実施し、好評のうちに終了しました。

10月15日、横手市十文字の地域交流センターにおいて開催された横手市の民生委員研修会(参加者約30名)にて、産業カウンセラーの赤沼紀美子さんが、ロールプレイングを交えながら1時間30分の講義を行いました。

参加者からは「地域住民と日常的に関わる際の参考になった」との声が多く寄せられ、質疑応答も活発に行われるなど、実践的で充実した内容となりました。また、横手市および「秋田・こころのネットワーク」より、ボランティアによる講師派遣に対し感謝の言葉をいただきました。

今後も依頼があれば積極的に講師派遣を受け入れていきたいと考えております。

(秋田・こころのネットワーク 小西)

秋田県運営部への問い合わせなどにご利用ください。

運営部長連絡先 080-9259-6005

メール jaico_akita●yahoo.co.jp

スパムメール防止のため、●を@に置き換えて
ご利用ください